

2013年3月期 第2四半期 決算説明会

2012年11月15日

 **古河機械金属株式会社**

* 本資料の予想につきましては、説明会開催日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

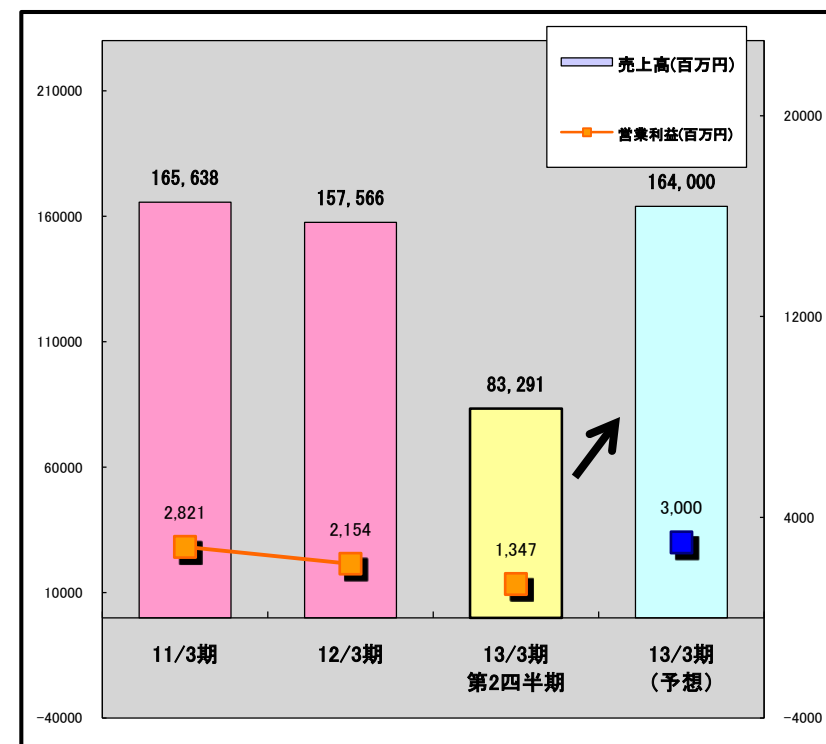
〔業績〕

(単位:百万円)

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	対前年同期 増減	12年3月期	13年3月期 予想	対12/3期 増減
売上高	74,156	83,291	9,134	157,566	164,000	6,433
営業利益	298	1,347	1,049	2,154	3,000	845
経常利益	△345	337	682	1,268	1,500	231
当期純利益	△3,259	△113	3,146	△1,659	1,000	2,659

〔財務状況〕

		12年3月期	13年3月期 第2四半期	対12/3期 増減
総資産	百万円	193,971	186,583	△7,387
純資産	百万円	47,668	45,558	△2,110
自己資本比率	%	23.7	23.5	△0.2



〔売上高〕

(単位:百万円)

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	対前年同期増減
機械部門	24,987	28,064	3,076
（産業機械）	(4,985)	(6,297)	(1,311)
（開発機械）	(12,768)	(11,677)	(△1,091)
（ユニック）	(7,233)	(10,089)	(2,855)
金属部門	31,436	37,559	6,122
電子部門	2,521	2,763	242
化成品部門	2,678	2,555	△123
塗料部門	7,443	7,664	220
不動産部門	634	533	△101
燃料部門	4,061	3,770	△291
その他	392	380	△11
合計	74,156	83,291	9,134

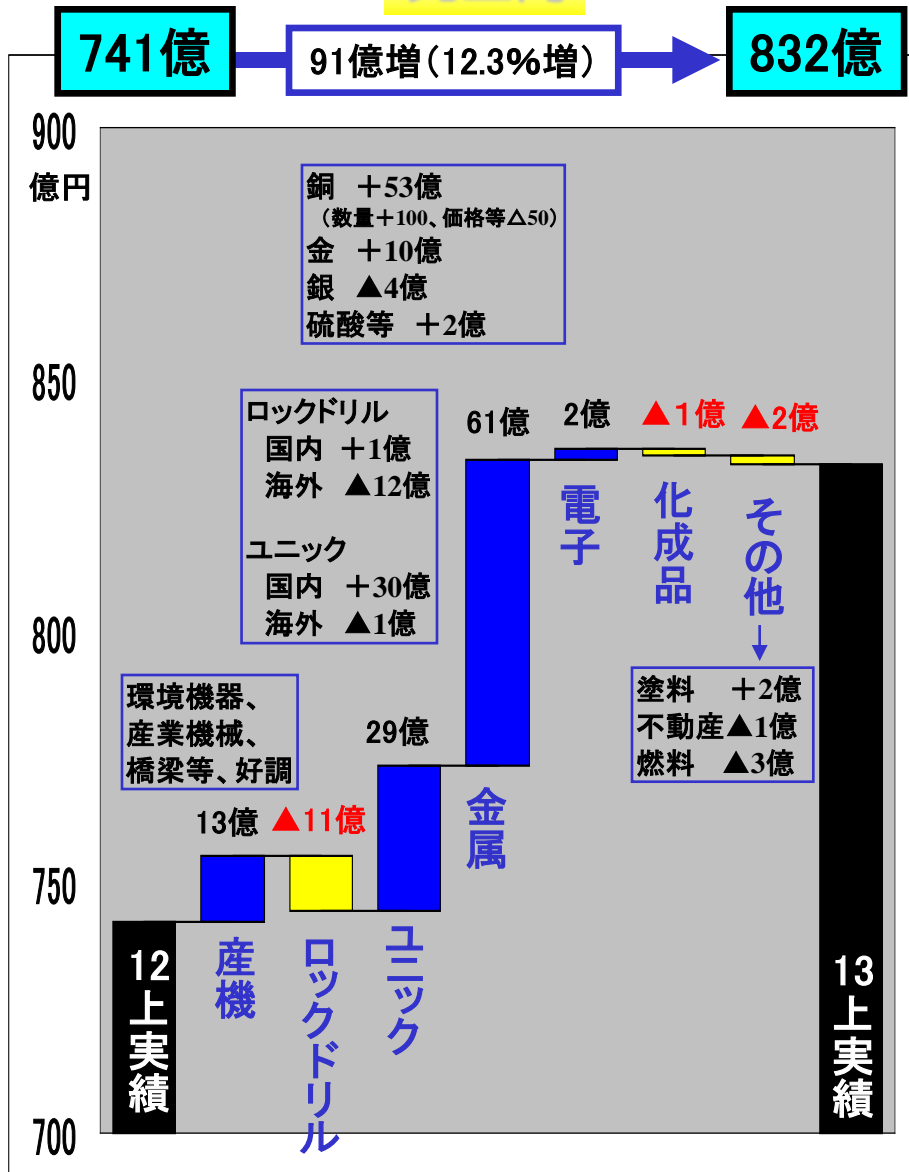
		13年3月期 第1, 2Q実績	対前年同期増減
銅	価	7,791 \$/トン	△1,279
為	替	79.4円/\$	△0.4

〔営業利益〕

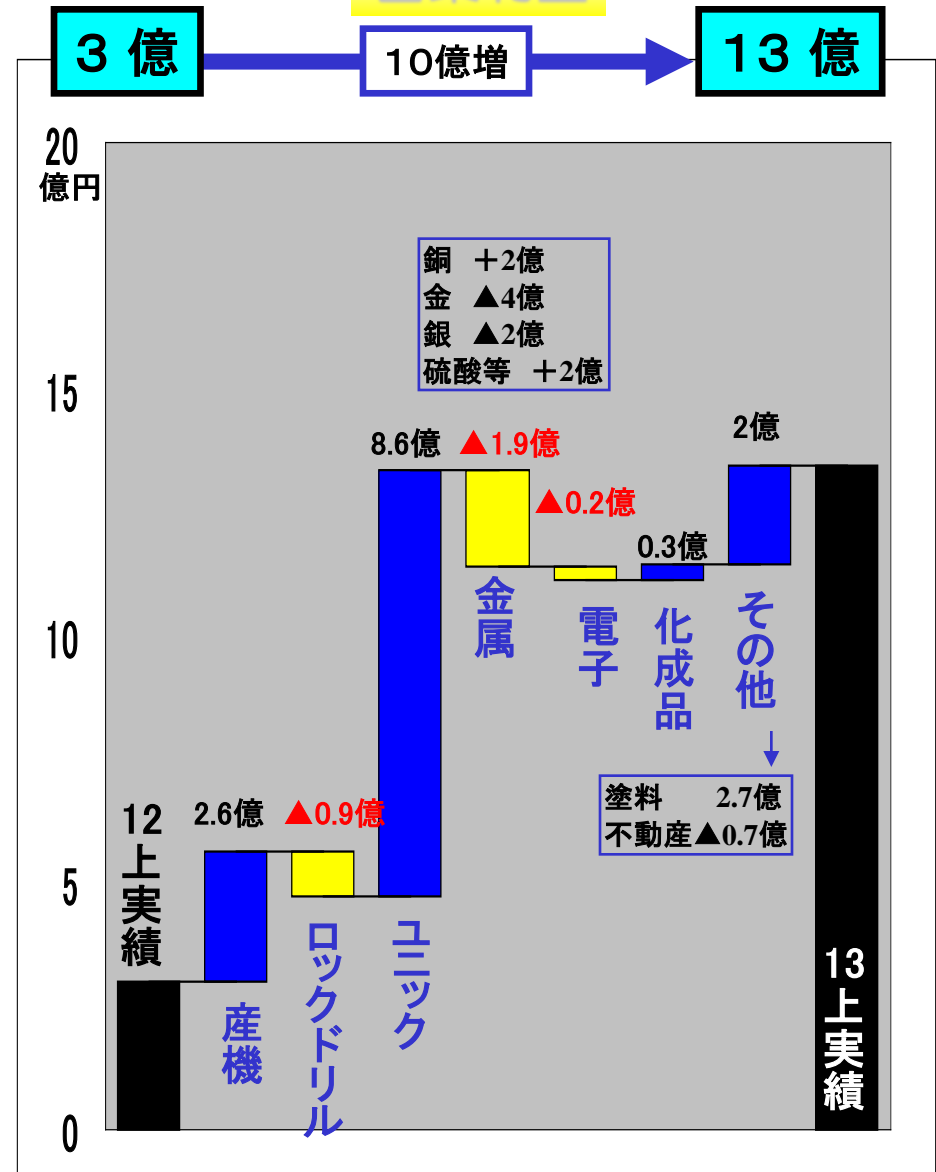
(単位:百万円)

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	対前年同期増減
機械部門	213	1,252	1,038
（産業機械）	(△87)	(179)	(267)
（開発機械）	(126)	(33)	(△92)
（ユニック）	(174)	(1,038)	(864)
金属部門	89	△103	△193
電子部門	△9	△38	△29
化成品部門	127	160	33
塗料部門	△199	75	274
不動産部門	198	121	△77
燃料部門	△22	△28	△5
その他	△63	△45	18
調整額	△36	△46	△10
合計	298	1,347	1,049

売上高



営業利益



(単位:百万円)

	12/3月期 第2四半期	13/3月期 第2四半期	対前年同期増減
売上高	74,156	83,291	9,134
売上原価	65,156	72,987	7,831
売上総利益	9,000	10,303	1,303
販売費及び一般管理費	8,702	8,956	254
営業利益	298	1,347	1,049
営業外収益	626	388	△237
受取配当金	208	169	△39
その他	417	219	△198
営業外費用	1,269	1,398	128
支払利息	706	652	△54
その他	563	746	183
経常利益	△345	337	682
特別利益	17	468	450
受取補償金	-	460	460
負ののれん発生益	8	-	△8
その他	9	7	△1
特別損失	3,526	630	△2,896
減損損失	100	331	230
投資有価証券評価損	3,236	289	△2,946
その他	189	9	△180
税金等調整前当期純利益	△3,853	175	4,029
法人税、住民税及び事業税	163	625	462
法人税等調整額	△549	△408	141
少数株主利益(△損失)	△207	71	279
当期純利益	△3,259	△113	3,146

連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	12年3月期	13年3月期 第2四半期	対12/3期増減
資産の部			
流動資産	81,498	78,709	△2,788
固定資産	112,473	107,874	△4,599
有形固定資産	85,085	84,134	△951
無形固定資産	647	605	△42
投資その他の資産	26,740	23,134	△3,605
資産合計	193,971	186,583	△7,387
負債の部			
流動負債	74,807	69,979	△4,828
固定負債	71,495	71,046	△449
負債合計	146,303	141,025	△5,277
純資産の部			
株主資本	43,866	43,652	△214
資本金	28,208	28,208	-
利益剰余金	15,705	15,491	△213
自己株式	△46	△46	△0
その他の包括利益累計額	2,155	205	△1,949
新株予約権	53	53	-
少数株主持分	1,593	1,646	53
純資産合計	47,668	45,558	△2,110
負債純資産合計	193,971	186,583	△7,387

受取手形及び売掛金、上場株式の株価下落による投資有価証券の減等

支払手形及び買掛金の減少等

その他有価証券評価差額金の減少等

■有利子負債

(単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期 第2四半期	対12/3期増減
短期	12,896	12,904	7
長期	72,899	73,027	128
有利子負債合計	85,795	85,932	136

〔連結業績〕

(単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期 (予想)	対12/3期 増減
売上高	157,566	164,000	6,433
営業利益	2,154	3,000	845
経常利益	1,268	1,500	231
当期純利益	△1,659	1,000	2,659

〔前提条件〕

	12年3月期	13年3月期 予想
銅 価	8,485 \$/ト	7,796 \$/ト
為 替	79.1円/\$	79.2円/\$

〔売上高〕

(単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期予想	対12/3期増減
機械部門	53,198	57,400	4,201
(産業機械)	(12,949)	(14,100)	(1,150)
(開発機械)	(24,143)	(23,600)	(△543)
(ユニット)	(16,105)	(19,700)	(3,594)
金属部門	68,114	74,000	5,885
電子部門	4,615	6,200	1,584
化成品部門	5,187	5,400	212
塗料部門	14,874	15,200	325
不動産部門	1,233	1,000	△233
燃料部門	9,576	3,800	△5,776
その他	766	1,000	233
合計	157,566	164,000	6,433

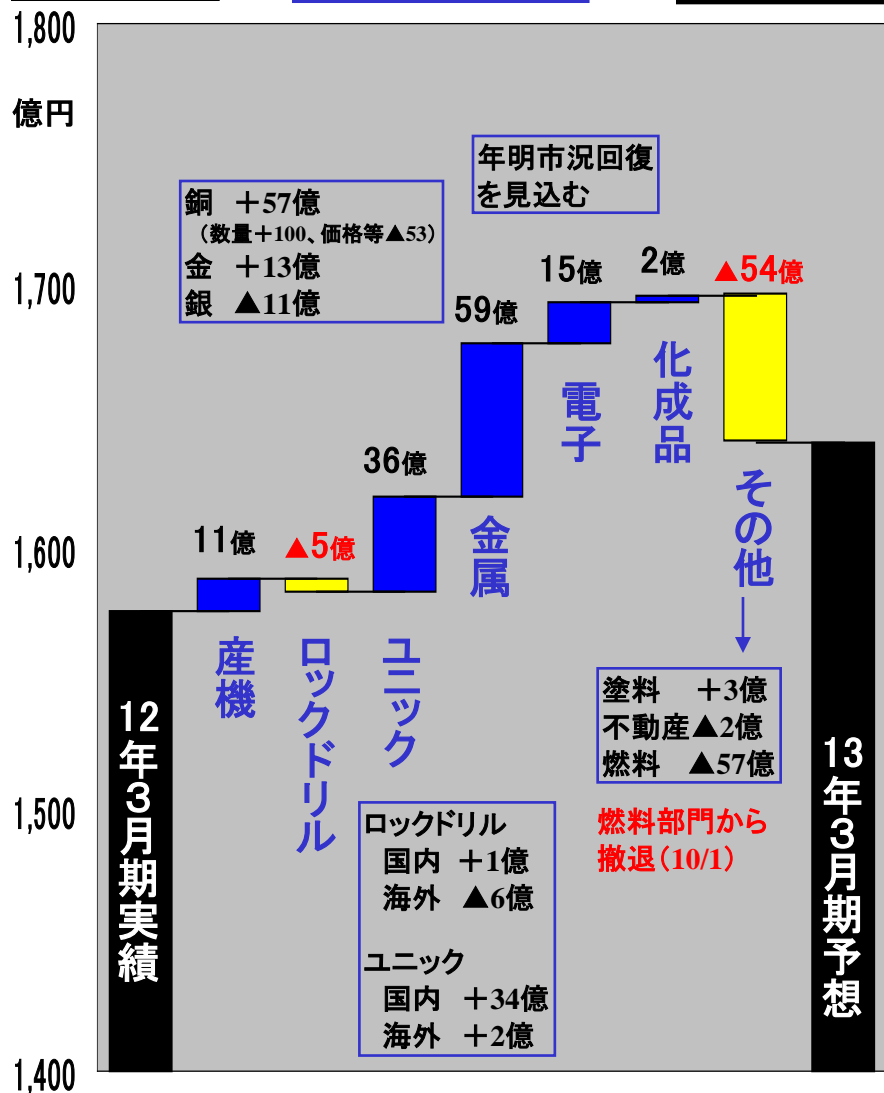
〔営業利益〕

(単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期予想	対12/3期増減
機械部門	1,970	2,650	679
(産業機械)	(708)	(850)	(141)
(開発機械)	(333)	(100)	(△233)
(ユニット)	(928)	(1,700)	(771)
金属部門	308	△150	△458
電子部門	△234	150	384
化成品部門	251	350	98
塗料部門	△329	30	359
不動産部門	356	170	△186
燃料部門	△13	△30	△16
その他	△93	△75	18
調整額	△60	△95	△34
合計	2,154	3,000	845

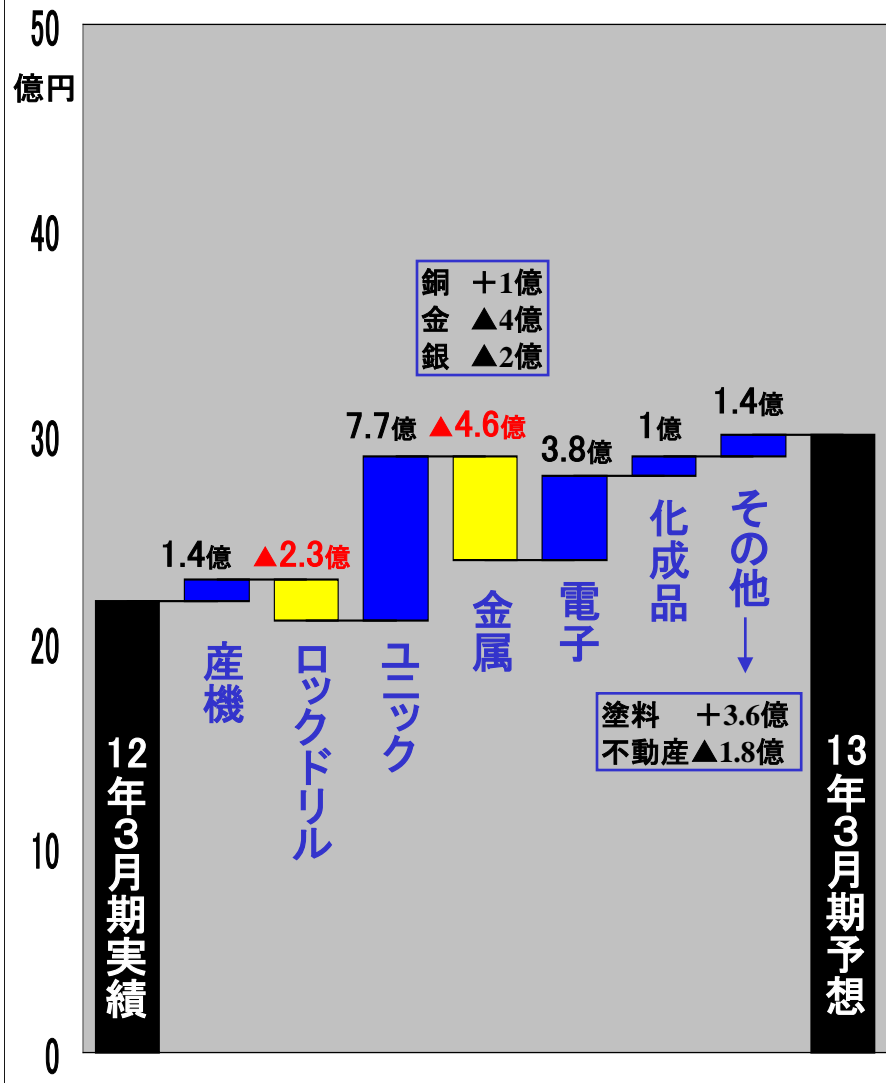
売上高

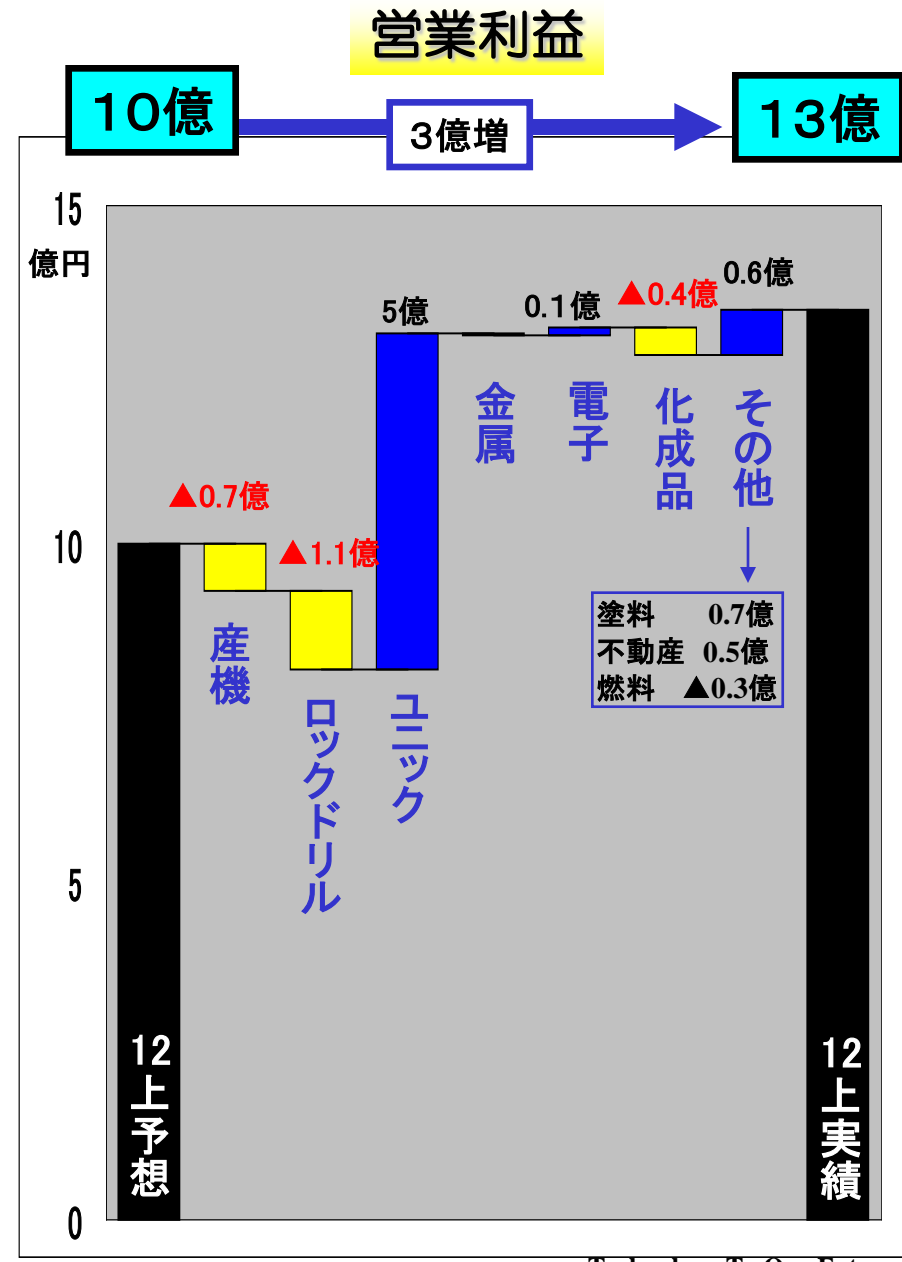
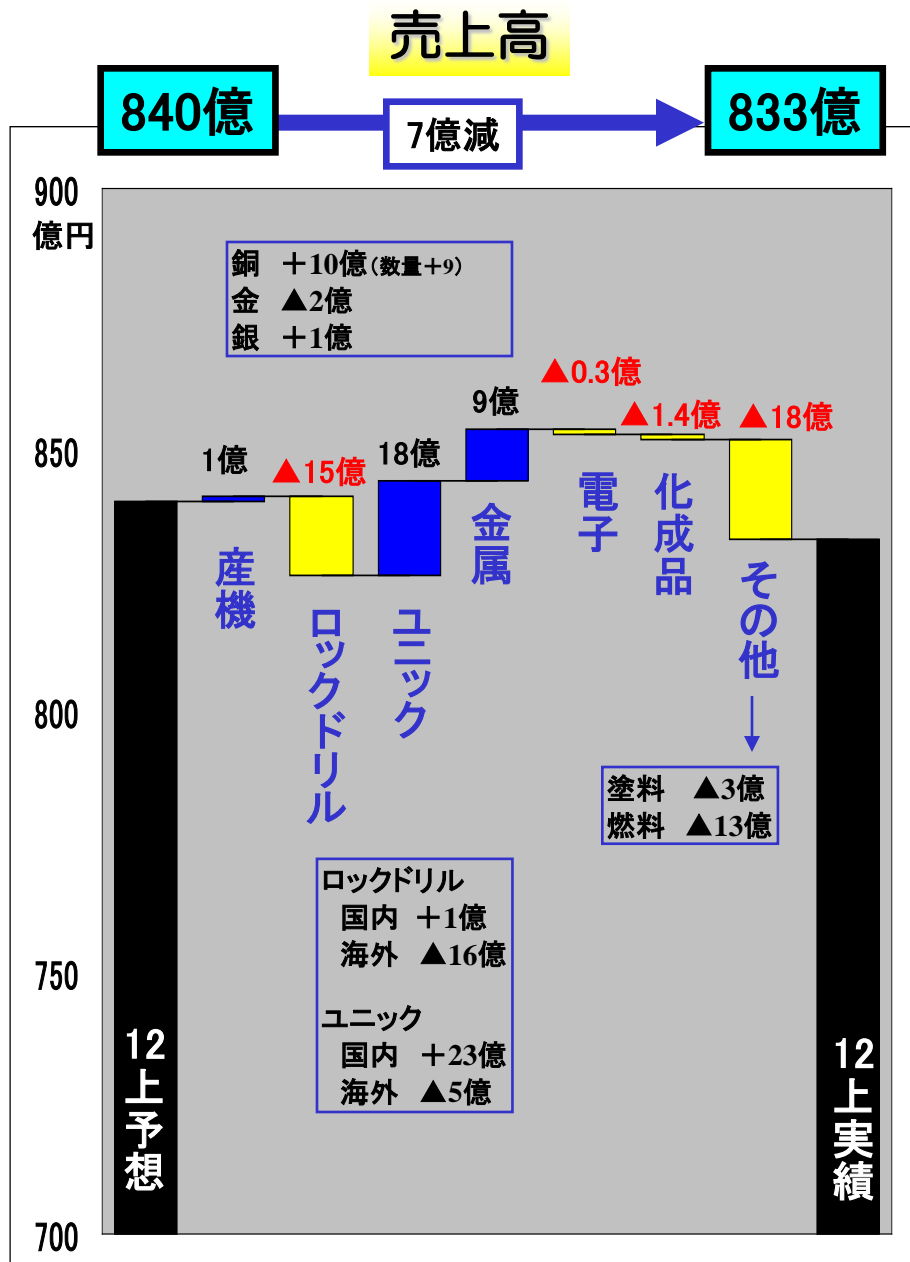
1575億 → 64億増(4%増) → 1640億

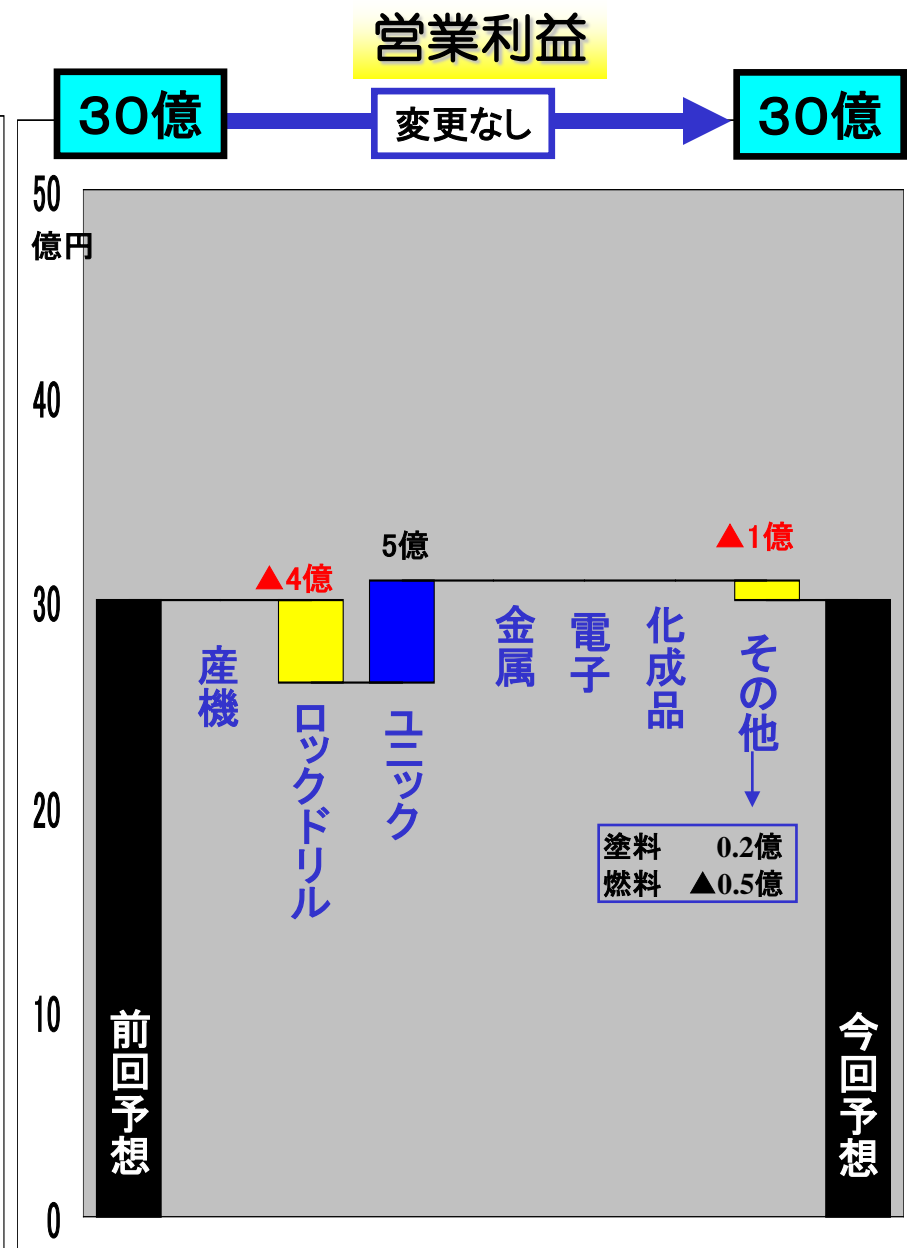
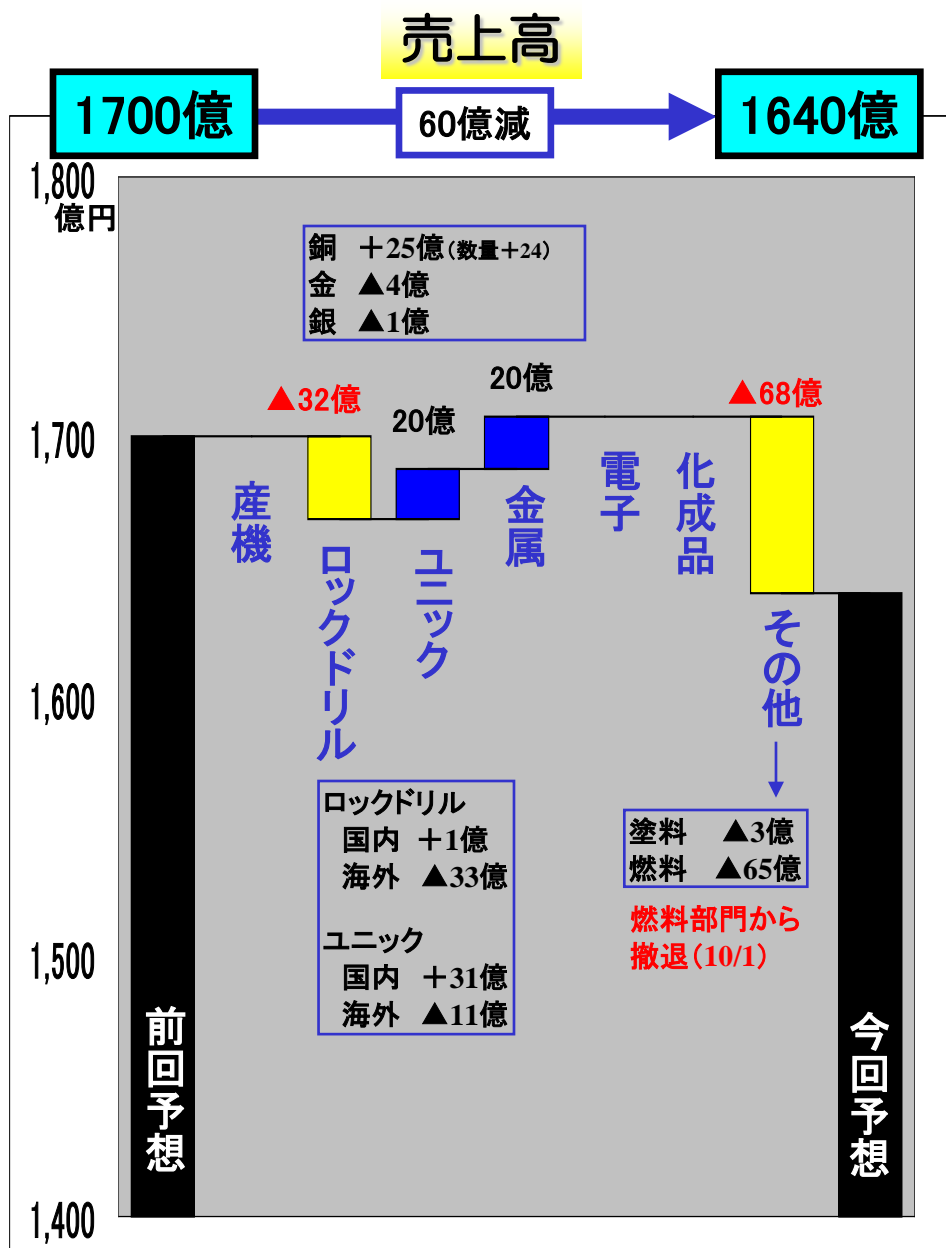


営業利益

22億 → 8億増(39%増) → 30億







設備投資の状況(連結)

(単位:百万円)

設備投資額	11年3月期	12年3月期		13年3月期			
		(第2四半期)	(通年)	(第2四半期)	(通年予想)		
機械部門	467	/	771	/	1,100		
金属部門	311		325		750		
電子化成品部門	343		457		1,100		
塗料部門	235		350		200		
不動産部門	305		1,482		750		
燃料部門その他	451		203		100		
設備投資 合計	2,112		1,652		3,588	985	4,000

日本橋室町東地区再開発事業

減価償却費の状況(連結)

減価償却費	3,288	1,662	3,328	1,495	3,000
-------	-------	-------	-------	-------	-------

研究開発費の状況(連結)

研究開発費	2,224	1,331	2,621	1,380	2,500
-------	-------	-------	-------	-------	-------

金属製品・為替の状況(連結)

		11年3月期	12年3月期		13年3月期	
			(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(第3,4四半期想定)
銅海外相場(平均)	¢/ポンド	369.2	411.5	384.9	353.4	353.8
	\$/トン	8,139	9,072	8,485	7,791	7,800
円相場 対米ドル平均(円/\$)		85.71	79.80	79.07	79.41	79.00
《古河メタルリソース(株)生産販売》		11年3月期	12年3月期		13年3月期	
			(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通年予想)
銅 生産量(t)		89,523	31,579	76,896	45,682	91,310
銅 販売量(t)		89,176	34,975	82,597	48,672	97,301

震災により委託製錬所が操業停止したことによる減

従業員の状況(連結)

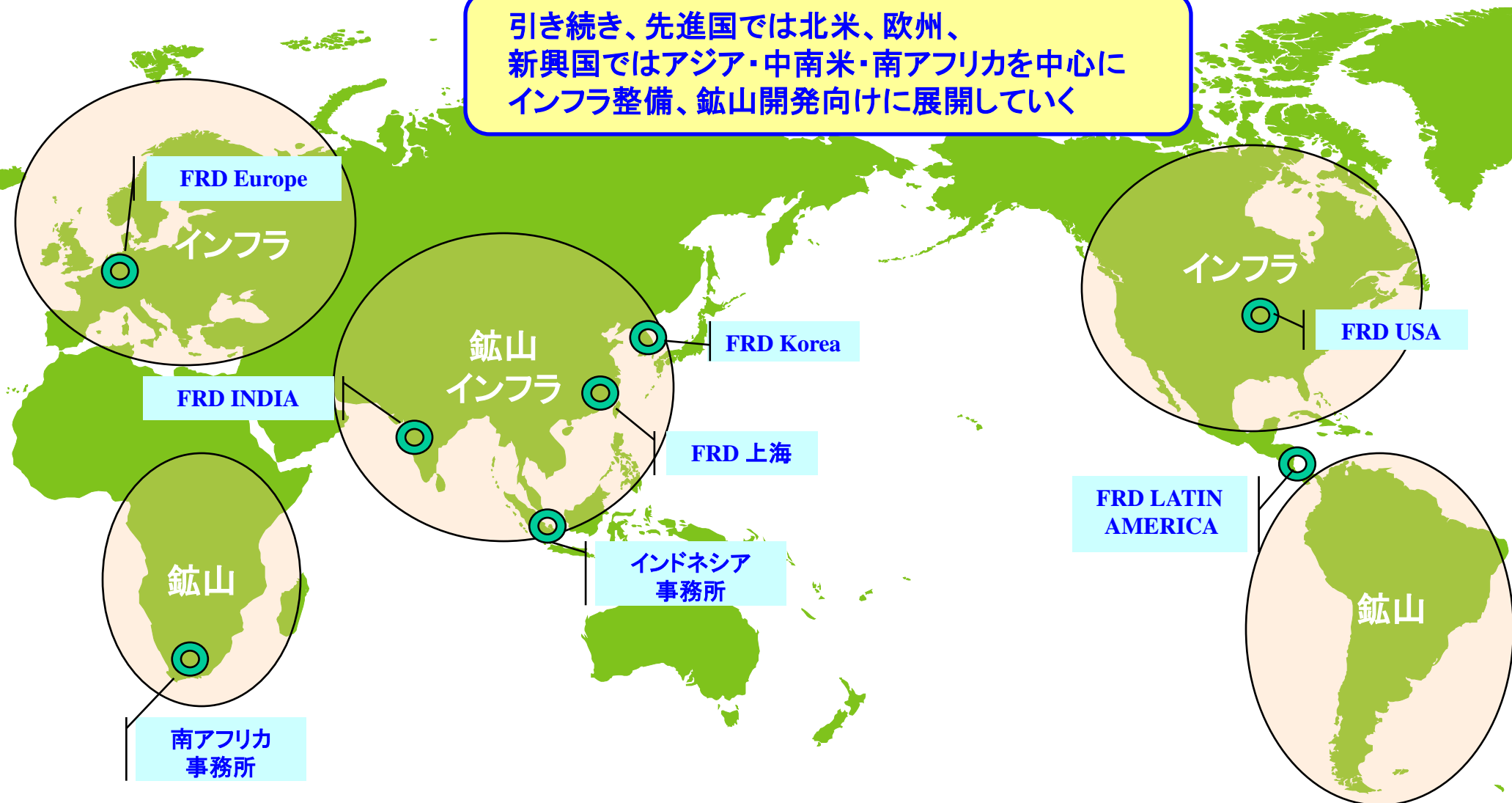
	10年3月末	11年3月末	12年3月末	12年9月末	対12/3末増減
人員(名)	2,670	2,728	2,752	2,773	21

基本方針

- ・機械事業の技術力強化と更なる海外展開の推進
- ・新製品の事業化に向けた開発の促進

■ ロックドリル事業－海外－

引き続き、先進国では北米、欧州、
新興国ではアジア・中南米・南アフリカを中心に
インフラ整備、鉱山開発向けに展開していく



■ ロックドリル事業—海外—

露天掘り鉱山、砕石などで使用されるロックドリル製品



油圧ブレイカ

＜発破後の大きな岩を小割する機械＞



油圧クローラドリル
(孔径64-115mm)

＜火薬装填用の穴を開ける機械＞



ダウンザホールドリル
(孔径89-229mm)

空圧クローラドリル
(孔径64-102mm)



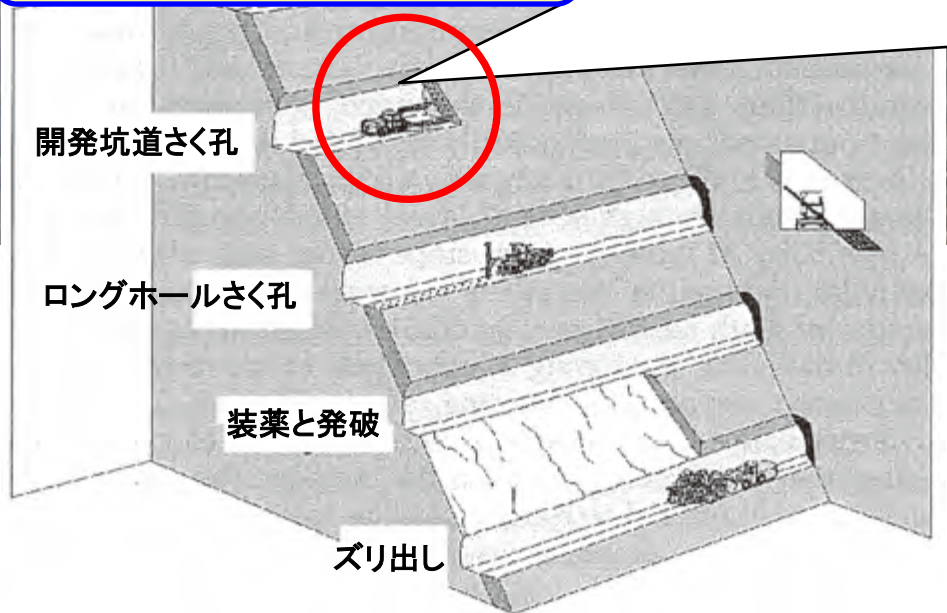
露天掘り鉱山、砕石において様々な用途で使用
中規模鉱山、セメント各社、専門下請業者をターゲット

■ ロックドリル事業—海外—

坑内掘り鉱山で使用されるロックドリル製品



坑道掘削に使用
坑内掘り鉱山をターゲット



鉱山用ドリルジャンボ



新型1ブームドリルジャンボ

■ロックドリル事業—海外—

インフラ整備で使用されるロックドリル製品



油圧ブレーカ



油圧クローラドリル

建築・土木現場の整地作業などに使用
ゼネコンをターゲット

■ ユニック事業—海外—



折り畳んで作業現場に移動



建設現場屋内で
ラジコン操作による外壁施工



建設現場屋上で資材運搬

ミニ・クローラークレーンの用途開拓



ショッピングモール内で
ガラス施工

■ ユニック事業ー海外ー



ミニ・クローラクレーン

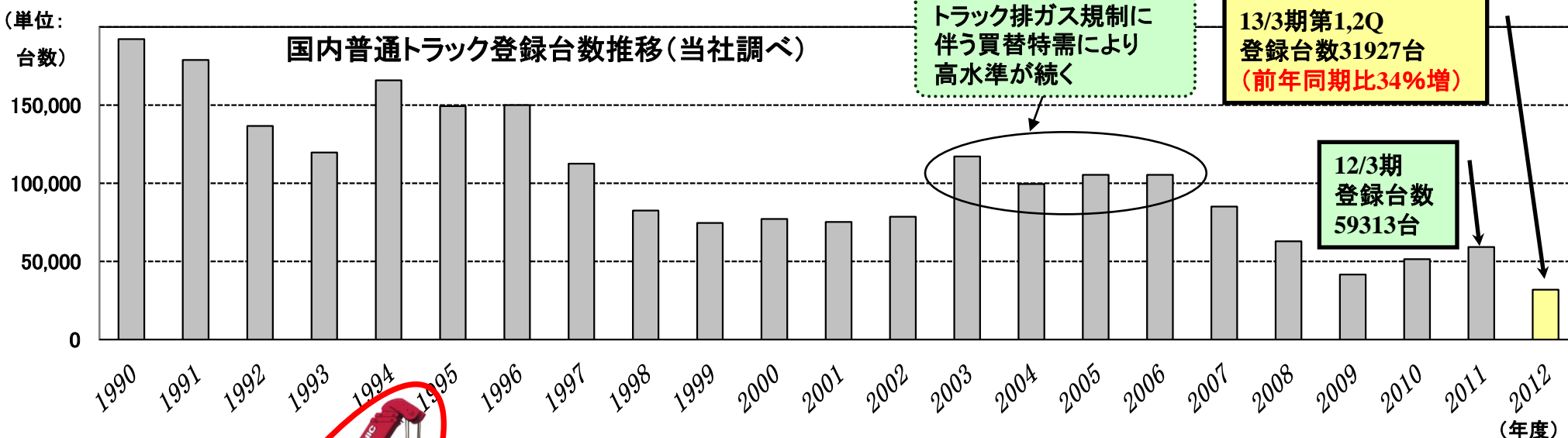


欧州一高い高層ビル
「ザ・シャード」(ロンドン)の
ガラスはめ込み作業で活躍



高度な油圧制御技術による優れた操作性と
販売代理店GGR社の実績が評価

■ユニック事業—国内—



国内普通トラック登録台数増加にともない
ユニッククレーン、ユニックキャリアが好調



■ 震災復興関連(交通インフラ)



トンネルドリルジャンボ:
復興道路、復興支援道路の
トンネル工事で稼働が見込まれる

トンネル、橋梁工事案件多数

トンネル工事 ...三陸だけで44件
橋梁工事 ...約100件

橋梁:
橋梁工事の受注目指す



トンネル工事用電気集じん器:

バグフィルター式集じん器と比べ電気コスト大幅減を訴求



復興道路・復興支援道路の概要

※国土交通省HPより引用



■ 震災復興関連 (交通インフラ)



トンネル工専用油圧ブレーカ：
岩盤掘削や発破後の浮石除去に使用



トンネルドリルジャンボ：
岩盤を発破に必要な火薬装填用の
穴を開ける



着工済みの復興道路、復興支援道路の
トンネル工事5件すべてで稼働中

復興道路、復興支援道路の
トンネル工事現場で稼働するロックドリル製品

■ 震災復興関連(がれき処理)

がれき処理現場で稼動するロックドリル製品

油圧ブレーカ



油圧圧碎機



油圧ショベルのアタッチメント製品で
鉄骨切断やがれき処理で使用



■ 震災復興関連 (フレコンバッグ輸送)

フレコンバッグを積載するユニック

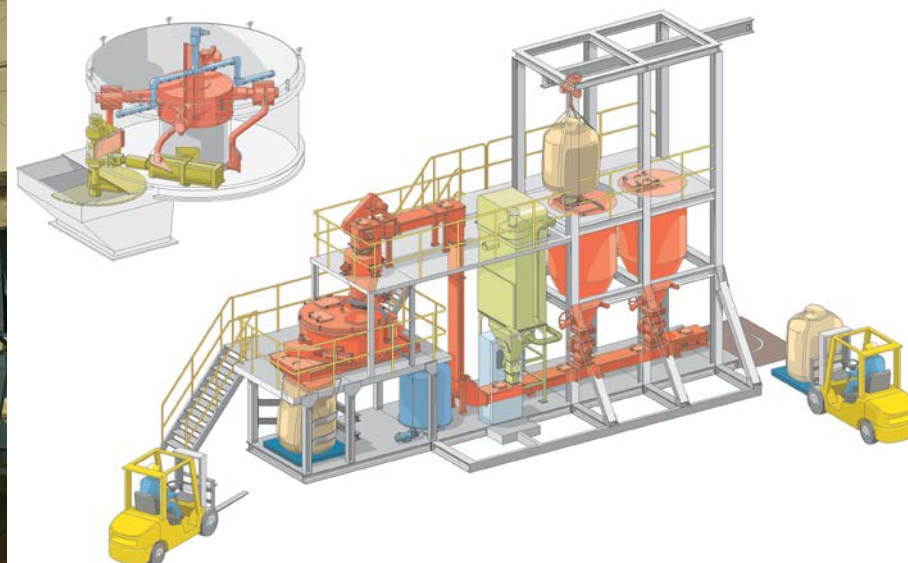


(写真は震災復興時)

今後も、フレコンバッグの積載・輸送にユニックが多数使用される見込み

■ 震災復興関連 (汚染焼却灰処理)

放射性飛灰セメント固形化装置



岩手県一関清掃センターの最終処分場で実証試験

環境省の指針に適合した処理装置を開発し実証試験を行った

■ 電子材料事業ーコイル事業の拡大・強化ー

コアを自社生産できる技術を活かしニーズに沿ったコイルを提供
特に自動車部品用では多くの納入実績を持つ

<主な展開>

EV・PHV充電器用大型リアクトル

PHV充電器向け→2012年1月より納入開始
EV充電器向け →2012年9月より納入開始
電力供給システム向け→2012年8月より納入開始

電動パワステ(EPS)用フィルタコイル

当社コイルはすでにトップシェア
→EPS普及台数増加に伴い数量増加
EPS普及台数2011年約3000万台→2015年約4700万台(矢野経済研究所レポートより)

直噴エンジン制御ユニット用表面実装(SMD)コイル

自動実装が可能なSMDコイルを新開発
→欧州車向けに展開予定

このほか、アイドリングストップ向け等、電子制御化が進む自動車部品向け
を中心に展開



EV・PHV充電器用リアクトル



表面実装(SMD)コイル

電子材料事業の柱の一つとして引き続きコイル事業を拡大・強化していく

■ 事業化案件ーシンチレータ結晶 LuAG結晶・GAGG結晶ー

放射線エネルギーを吸収し発光する結晶で、LuAG、GAGG結晶それぞれの特性から、医療機器の画像診断装置や放射線測定器への応用に期待されている

LuAG結晶



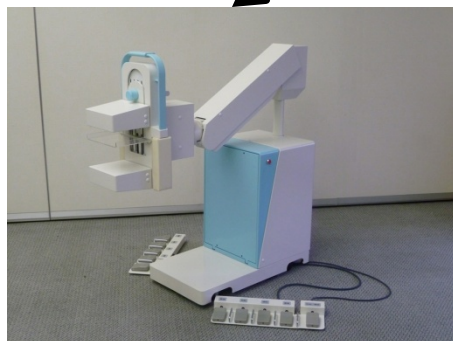
GAGG結晶



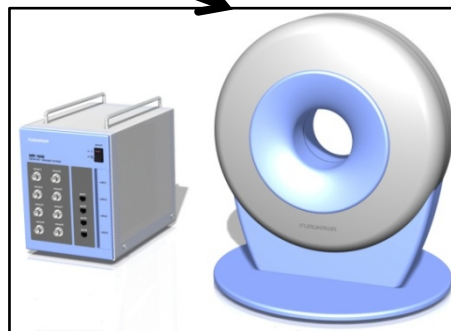
高感度放射線測定器 (ガンマスポッター) →販売中

医療機器の画像診断装置への応用展開

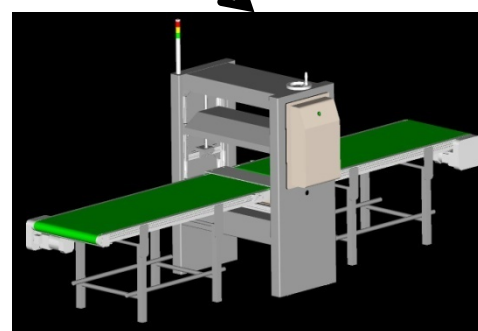
放射線測定器への応用展開



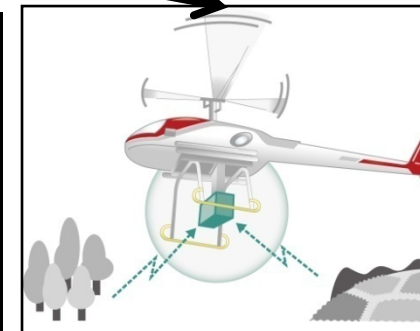
次世代乳がん検診装置 (PEM装置)
→臨床試験継続、薬事申請へ



卓上型PET装置
→試作機完成、評価試験へ



魚用放射線検出器
→実証試験継続、製品化急ぐ



無人ヘリ搭載用ガンマカメラ
→JSTプロジェクト参画

当社が有する結晶開発技術と機械製造技術を応用し製品を開発、事業化を推進していく

ご静聴有難うございました

△ 古河機械金属株式会社

過去5年間の部門別実績及び業績予想(2012年11月15日発表)

〔売上高〕

(単位:百万円)

	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期(予想)
機械部門	75,841	62,639	44,313	47,025	53,198	57,400
（産業機械）	(17,331)	(15,836)	(12,783)	(10,655)	(12,949)	(14,100)
（開発機械）	(37,497)	(29,427)	(20,386)	(23,880)	(24,143)	(23,600)
（ユニック）	(21,012)	(17,375)	(11,142)	(12,490)	(16,105)	(19,700)
金属部門	97,519	68,786	71,132	79,979	68,114	74,000
電子部門	8,751	5,568	5,969	7,147	4,615	6,200
化成品部門	6,525	5,820	5,025	5,076	5,187	5,400
塗料部門(※)	—	—	3,692	15,040	14,874	15,200
不動産部門	2,758	2,386	2,043	1,577	1,233	1,000
燃料	20,735	15,452	9,893	9,004	9,576	3,800
その他	1,294	1,204	854	785	766	1,000
合計	213,426	161,857	142,925	165,638	157,566	164,000

〔営業利益〕

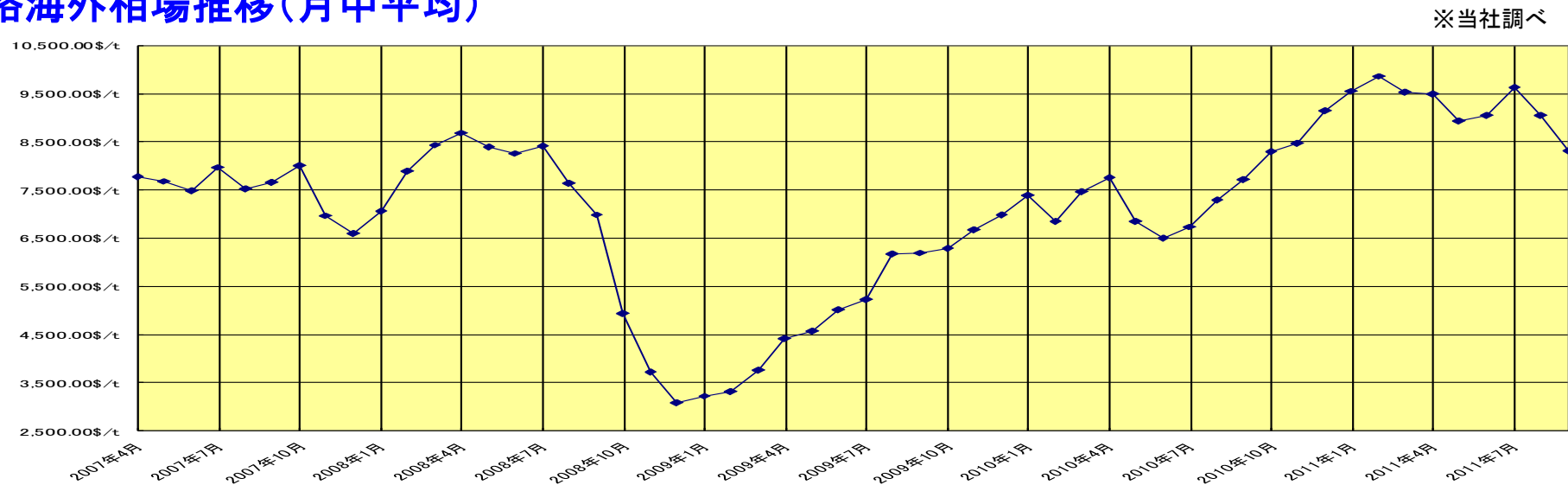
(単位:百万円)

	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期(予想)
機械部門	6,837	1,733	△3,022	△566	1,970	2,650
（産業機械）	(837)	(767)	(433)	(△29)	(708)	(850)
（開発機械）	(3,702)	(255)	(△2,584)	(△350)	(333)	(100)
（ユニック）	(2,297)	(710)	(△870)	(△186)	(928)	(1,700)
金属部門	6,206	23	3,224	1,494	308	△150
電子部門	984	4	657	1,279	△234	150
化成品部門	470	201	104	269	251	350
塗料部門(※)	—	—	△19	△93	△329	30
不動産部門	749	706	1,128	635	356	170
燃料	△430	202	△29	△56	△13	△30
その他	△228	△304	△376	△92	△93	△75
調整額	△181	△264	△69	△49	△60	△95
合計	14,407	2,303	1,597	2,821	2,154	3,000

※09/12に(株)トウペ（塗料事業）を連結子会社化

※「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用（11年3月期）により10年3月期の数値を同基準に置き換えて表示しています

銅価格海外相場推移(月中平均)



為替相場推移(月中平均)

